

千葉・板橋交流ミックスバレー ボール大会

和気あいあいの中でも隨所に真剣なプレーも！

秋の恒例行事となった「第43回千葉・板橋交流ミックスバレー ボール大会」が11月16日(日)千葉市・磯辺SC体育館で8チーム(板橋4チーム・千葉4チーム)が参加して行われました。

今回千葉枠出場チームの内3チームはバレー

ときおりメンバーのミスをお互いに茶化すシーンもありましたが、真剣なプレーが目立つ試合展開。対戦結果はLotusが2勝。SIMPLE/MAKES②は1勝1敗と星を分けましたが、千葉代表となる八街排球クラブは新人主体ということもあり2戦2敗と残念な結果に。

一方、Bコートは子連れチームが多く和気あいあいの雰囲気の中で行われ、終始笑いが絶えない状況でした。結果は玲庵丸が2勝。REVERESE/BELLSが1勝1敗、Siegが2戦2敗という内容でした。本大会は交流を目的にして



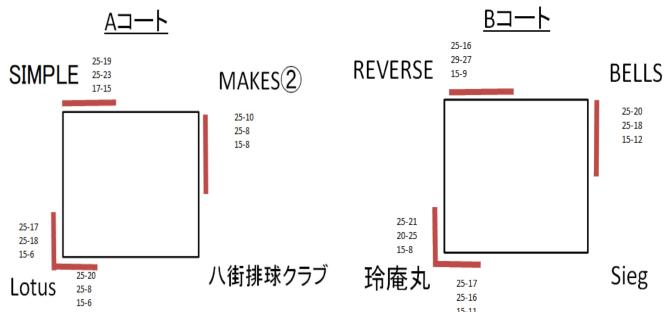
ボール大会サイト=(通称)バレステ経由での申し込みなのではたしてどんなチームが来てくれるのか?嬉しさ半分、期待半分?で当日を迎えました。

2面コートの内、Aコートは11月末の全国大会に参加するチーム主体で、Bコートは初参加チーム同士となるよう編成して試合開始。

Aコートは実力あるチーム同士の対戦となりましたが、交流大会という雰囲気も手伝い

いたことから2セットで決着がついても3セット目は行うというローカルルールで行いました。

ある初参加チームのキャプテン「楽しかったです。次回も参加します!」とありがたいメッセージを頂きました。大会参加チームが年々増えない状況が続いているミックスバレー ボールですが少しはトンネルの先に明かりが見えてきたようです。



白熱した投手戦を制したのはB-Leverage! ～～第49回2025年秋・選抜大会決勝トーナメント戦～～

2025年12月7日（日）千葉県総合スポーツセンター野球場（通称：天台野球場）で2025年選抜野球大会決勝トーナメント戦（準決勝・決勝）の3試合が行われました。

決勝戦に駒を進めたのは投打とも実力を備えた2チーム：SmokersとB-Leverage！試合開始前に主審を務める三上審判に試合展開を予想してもらうと「両チームとも投手が良い。2点勝負とみています。勝敗の行方はいかにミスを防ぐかではないでしょうか？」との見立て。果たして勝利の女神はどちらに微笑むか？

1回表のB-leverageの攻撃。先頭・2番打者と連続ヒット、続く3番が四球で無死満塁のチャンスに4番打者のタイムリーヒットで2点をもぎ取る。追加点が予想される状況でしたがSmokers先発・川上投手も踏ん張りその後の攻撃を食い止める。

Smokersは2回裏の攻撃で1点を返し追撃態勢に移るも、140kmを超える速球でぐいぐい押すB-Leverage先発・千葉投手をなかなか崩せず三振の山を築くばかり。



B-Leverageピッチャー
千葉の力強い投球

聞けば千葉投手は社会人野球

で投げまくった経験がある強者。対戦相手のSmokers・川上投手も1回表に2点取られた後は立ち直り時折外角低めにズバッと投げ込む速球にB-Leverage各打者も凡打の山。

両チームとも序盤の得点以外は上げられず白熱した投手戦の



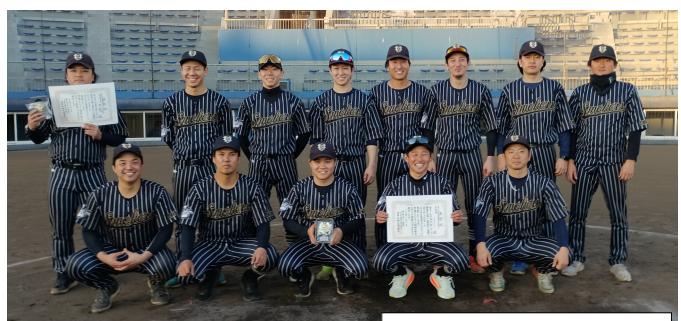
展開に。結局2025年秋のトーナメント戦優勝を勝ち取ったのはB-Leverageと相成りました。

優勝チームキャプテン曰く「勝因は1回満塁のチャンスの2点が大きいですね。勿論投手・千葉の力も大きいです。決勝戦は彼に全幅の信頼を任せていきましたので交代は考えていました。（真の勝因は）彼をスカウトした私でしょうか（笑）余裕のある答えでした。図らずも三上主審の見立て通りの試合展開となりました。

なお、決勝戦の最優秀選手は森将大選手（B-Leverage）、優秀選手は川上洸輝選手（Smokers）のお二人でした。



優勝したB-Leverage



準優勝のSmokers

＜決勝戦スコア＞

チーム	I	II	III	IV	V	VI	VII	計
B-Leverage	2	0	0	0	0	0	0	2
Smokers	0	1	0	0	0	0	0	1

＜準決勝第1試合＞

チーム	I	II	III	IV	V	VI	計
Dopin	0	0	0	0	0	0	0
Smokers	2	2	0	0	0	0	4

＜準決勝第2試合＞

チーム	I	II	III	IV	V	計
B-Leverage	1	2	3	2	1	8
サンドロッソ	1	0	0	0	0	1

千葉代表 t.kが快挙！ALL KANTO 女子バレー大会優勝レポート

新日本スポーツ連盟全国連盟主催の「2025年第1回 ALL KANTO 選抜女子バレーボール大会」が、11月22日（土）に磯辺SC体育館にて開催されました。

関東各都県から選抜された7チームが集結し、来年3月に千葉県館山市で開催される全国大会の出場権をかけて熱戦を繰り広げました。

今回は、特に地元の千葉代表チームの奮闘ぶりに焦点を当ててレポートします。

強豪揃いの予選会、千葉県からは、前回県大会3位の松戸ダイヤモンドと、今大会が初出場となるt.kの2チームが出場しました。

予選リーグの展開

Aコート第1試合は地元初出場のt.k対モンチャック（東京代表）

初出場ながら、千葉市リーグ参戦メンバーを中心としたt.kが試合巧者ぶりを発揮し、2：0で幸先良いスタートを切る。

Bコート第1試合は松戸ダイヤモンド（千葉）とHoiHoi（東京）のいずれも全国大会出場経験を持つ強豪同士の対戦。

松戸ダイヤモンドは主力選手を体調不良で欠いたこともあり0：2で敗戦。波に乗りきれず初戦を落としました。

両チームの2試合目では、t.kが神奈川代表の

BERSELKを圧倒的なレシーブ力と攻撃力で圧倒し、2：0で勝利。見事に全国代表決定戦（優勝決定戦）へ駒を進めました。

一方、松戸ダイヤモンドは山梨代表のFioraと接戦を繰り広げ、要所を攻め抜き2：1で勝利。惜しくも全国決定戦は逃しましたが、3位決定戦に進出しました。

t.k、高身長チームを下し堂々の優勝！

全国大会出場権を懸けた優勝決定戦は、千葉代表のt.kと、平均身長170cm近い選手を揃える東京代表のHoiHoiの対戦となりました。

試合は、試合運びが巧みなt.kに対し、HoiHoiの高さからの攻撃力が真っ向からぶつかり合う展開に。しかし、ミスが少なく安定したプレーを見せたt.kが粘り勝ち、2セット連取で優勝を決めました！

惜しくも松戸ダイヤモンドは3位決定戦で僅差で敗れ、4位という結果になりました。

優勝したt.kは、来年3月に地元千葉県館山市で開催される全国大会への出場権を獲得しました。地元での活躍が大いに期待されます。

参加した7チーム全ての選手が、精一杯プレーし、コートで見せてくれた笑顔は、スポーツの楽しさ、大切さを改めて実感させてくれました。

（バレーボール協議会 吉川 明）



優勝し、全国大会への切符を勝ちとった
t.k の皆さん

理事会報告

11月21日（金）天台のスポーツ科学センターにおいて、53期第3回となる理事会を開催いたしました。

会長挨拶に続き、千葉県連盟創立に尽力いただいた秋本信孝元事務局長の冥福を祈念し黙祷を行いました。

【活動経過】

各協議会から、第2回理事会（6月開催）以降の活動状況等の報告をいただきました。

野球協： 関東大会の敗戦により、第59回全国軟式野球大会全国大会に代表を送ることができなかった。

第49回全国選抜軟式野球大会千葉県大会（トーナメント戦）は23チームの参加で9月 28日開幕した。

卓球協： 年度当初の予定どおり大会は進んでいます。

参加者もお断りせざるを得ないくらい増えている。

会員も570名以上に増えてきている。

スキー協： 6月に総会を開催。ホームページを

見て内容を知りたいという方2名から連絡がありました。

現在千葉県スキー祭典に向け準備を進めている。

バレーボール協： 7月19日千葉県バレーボール夏季大会及び全国予選（男子）開催。

11月22日オール関東大会女子（JFE体育館）千葉2チーム参加。

12月14日バレー男子全国大会（三重県）千葉から4チーム参加。

空手協： 2025年度は8月と翌3月に開催予定。8月の大会は260名程の参加、参加者は減ったが参加道場は3道場増加して43道場に。

来年3月29日の大会には、さらに増加し50道場への大会参加を誘致。

テニス協： ほぼ毎週大会を開催している。12月21日-22日に全国テニス選手権大会をフクダ電子ヒルスコートで開催する。

【協議内容】

- ・千葉県連盟の会計年度は1月から12月まで、決算の見込みについて、竹村常任理事より説明、質疑。
- ・四街道総合公園を会場としたリレーマラソン開催について、四街道市地域振興財団に提出した「事業計画案」の概要説明

スポーツアラカルト

ウォーキングの魅力はどこに？ ～～「健康増進」「地域を好きになる」 &「人との繋がりが持てる」～～

私がウォーキングに関わるようになったのは腎臓機能が低下していたことから「歩く事」で腎臓の毛細血管を柔らかくすることが出来、腎臓の壊死を防ぐことで治療に繋がる旨を聞き及びそれ以来この『競技』にはまっています。

また、歩くことで知らなかった地域の歴史を知ることが出来ます。

まず歩く場所を探さなくてはなりません。今まで訪れたところは「北総の4都市巡り＝佐倉・成田・佐原・香取」「房総の城巡り＝久留里城跡・佐倉城址など」「千葉県の戦跡巡り＝千葉市・船橋市」「匝瑳市の歴史遺産巡り」「勝浦の自然巡り」等など。

事前に何度も現地に足を運び、会員の脚力を考慮してルートを決定。昼食場所・トイレ・休憩場所等も見つけます。



更にウォーキングのおかげで人との繋がりが持てます。例えば『このあたりに興津城跡が有りませんか？』と通りがかりの人に尋ねると『私はその麓に或る神社の総代です。連れて行ってあげますよ。』ということでその方とすっかり仲良しになったことも。

地域のことが分かると同時に各地域の方達と交流が持てたりします。

これからも県内各地に足を運び交流を深めたいと思います。

ウォーキング万歳！

クラブ紹介

Rossowave

野 球



~~~~~

今回紹介するクラブは目にも鮮やかな赤いユニフォームが際立つRossowaveの皆さんです！

9月28日トーナメント戦の開幕戦で代表者の土井佑太さんに語ってもらいました



~~~~~

「ユニフォームが赤いことからイタリア語の『Rosso』を使用。ユニフォームデザインはオリックス・バファローズを参考にしており、響きがいいからという理由もあり、チーム創設時のメンバーの合議で反対意見もなく『Rossowave』にチーム名を決定しました」

「2019年度の選抜大会で優勝しましたが新型コロナウィルスの影響で全国大会が中止に。

そこから6年経過してチームのメンバーも大きく変わりました。チームも結成から15年目となり、子どもを持つメンバーがかなり増えてきました。今は20年、30年続くチーム作りをしています。」

長続きの秘訣は？との問い合わせに「毎週野球をや

りたくて集まってくれるチームメンバーがいることだと思います。」選手への感謝が熱い！
「新日本ス



ツ連盟の他にも大会に出場。毎週土曜日か日曜日に活動。

全国大会出場を目標に大会だけでも年間30試合以上戦っております。

登録の関係もありますが、毎試合10名弱の活動。草野球の活動ですので、毎週同じメンバーではなく、その日参加したメンバーでベストを尽くします。

今回初戦の結果は0-1で敗戦となりましたが、守備からリズムを作ることはできていたので、あとはどこで点を取るかだと思います。」力強い一言！今後の戦い方が見もの！



新スポーツ連盟への希望・要望などを伺いますと「今参加しているトーナメント戦では決勝トーナメントに残れるように一戦一戦、戦い抜きます。大会運営にあたりご尽力頂いている皆さんに感謝します。

野球だけに限りませんとホームページもリニューアルし、選手目線ではわかりやすいものとなっていると思います。

ご多忙とは思いますが今後ともよろしくお願ひいたします。」との温かい言葉が返ってきました。

(文責 園川)

*写真は9月のトーナメント戦のものです。

SPORTS CALENDAR

12月

- 12月6日(土) テニスシニア370チーム対抗女子 (天台B)
12月7日(日) 野球協トーナメント戦 (天台球場)
12月13日(土) テニス混合3ペアチーム対抗 (天台B)
12月18日(木) 平日ペアマッチ卓球大会 (花島公園体育館)
12月26日(金) 船橋ミックス卓球大会 (船橋アリーナ)
12月27日(土) テニス会長杯年齢別男女D (天台AB)
　　ウォーキング例会 (餅つき大会)
12月28日(日) テニス会長杯年齢別男S (青葉の森)

12月20日(土)~21日(日) 第25回全国テニス選手権大会
(フクダ電子ヒルスコート)
12月10日(水) 4役会議
12月18日(木) 常任理事会

1月

- (12月30日~1月3日 事務所閉所)
- 1月4日(日) テニス370チーム対抗男子 青葉の森
　　卓球3ダブルス団体戦 よはすアリーナ
1月17日(土) テニス新春大会チーム対抗 天台A・B
　　スキー協雪上研修会 舞子スキー場
1月24日(土) テニス会長杯 男子D 女子S 天台A
1月27日(火) ウォーキング例会 (成田山界隈)

1月14日(水) 4役会議
1月15日(木) 常任理事会

寝不足はランナーに大敵！

今年も残りわずかとなりました。日頃の運動不足を解消しようと年の初めに「今年こそはジョギングを始めよう！」とスタートされた方もおいでになったのではないでしょか？その結果はいかがでしたか？うまくいっている方もいれば、そこそこに続いている方も。中には途中挫折した方もおいでになると思います。

持続できなかった原因に寝不足だったにも関わらずスケジュールをこなそうと頑張りすぎたこともあるのではないでしょうか？

豪大学研究グループが纏めた「余暇にランニングを楽しむオランダの425例のアンケート結果」によると、前夜の睡眠に何らかの問題があった人はそうでなかった人の2倍近く怪我をするリスクが高くなることが報告されました。

睡眠が阻害されるとホルモンを調整して集中力を維持する体の能力が低下、けがのリスク

が高まる。入眠困難→夜間に頻繁に目が覚める⇒起きたばかりで休めた感覚がない等の障害を定期的に経験しているランナーは特に怪我をしやすいとのこと。

睡眠時間が一定で質が良好だと答えた人は怪我が少ないとからも「余暇にランニングを楽しむ人はトレーニングと仕事、家庭や社会的責任のバランスをとる必要があり、平均的な成人より多くの睡眠が必要かも」研究結果を纏めた同大学ヤン・デ・ヨング教授は指摘。

新たな年に再度ランニングにチャレンジする同輩諸氏、この提言をどう受け取りますか？決して焦ってはいけませんよ、のんびり、ゆっくり、余裕をもって寝不足なく歩きましょう！いや、走りましょう！？



理事長の独り言